

平成28年度

全国学力・学習状況調査の結果について



おもいやりの塔



あいさつの日時計



海老名市立柏ヶ谷小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成28年4月19日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 話すこと・聞くこと
 - ・収集した情報を関係づけながら話し合いを進めていくこと。
- 読むこと
 - ・目的に応じて図と表とを関係づけて資料を読むこと。

《努力を要する所》

- 書くこと
 - ・読み手により分かりやすく伝えるための工夫。例えば、長文は複数の単文に分けるなど。
- 漢字の読み書き
 - ・「快晴」や「親しい」など、児童の日常での使用が比較的少ない語。
- ローマ字の読み書き
 - ・「ASATTE」「HYAKU」など促音や拗音を含んだ語。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 読むこと
 - ・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと。
- 読むこと
 - ・目的に応じて、一方の資料の情報を他の資料に当てはめ、調べる内容を確認しながら読むこと。

《努力を要する所》

- 話すこと
 - ・インタビューで、目的に応じて質問事項を整理すること。
- 書くこと
 - ・グラフから情報を正しく読み取り、必要な情報について適切な言葉を用いて記述すること。
 - ・活動報告文で、成果だけではなく課題も取り上げると効果的であるというものの理解。

これまでの取組から

- 習得した漢字の読み書きの機会を多く設定していくことで、漢字の習熟度が向上してきました。今後も継続して指導していきます。
- 目的や相手を意識して自分の考えを書いたり、決められた条件で文章を書いたりする活動を続けることで、書くことに対する意欲が高まってきました。

今後の具体的な取組について

- 文章を書く際には、自分の考えをより分かりやすく伝えるために、文章全体の構成を工夫したり、図やグラフなどを効果的に用いたりする指導を行い、表現活動の楽しさを感じさせていきます。
- 友だちと書いたものを読み合う機会を設け、互いの文章の特徴を捉えたいうえで、書く目的や意図に応じた文章構成や表現になっているか、具体的に助言し合えるように指導していきます。
- 幅広いジャンルの本に触れる機会を設けて、読書活動の充実を図ります。

算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○数と計算

- ・ 繰り下がりのある減法の計算。
- ・ 小数の除法の計算。
- ・ 分数の乗法と答えの約分。
- ・ 不等号による数の大小関係。

○量と測定

- ・ 三角形の底辺と高さの関係。

《努力を要する所》

○数と計算

- ・ 除数が1より小さいとき商が被除数よりも大きくなることへの理解。
- ・ 除数と被除数に同じ数をかけても、商は変わらないことへの理解。
- ・ 末尾の位が揃わない小数の除法の計算。

○量と測定

- ・ 単位当たり量の大きさの求め方。

○数量関係

- ・ 百分率の基準量と比較量の関係。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○図形

- ・ 正方形に内接する円の半径の求め方についての理解。

○数量関係

- ・ 示された事柄について正しく表を読み取ること。

《努力を要する所》

○量と測定

- ・ 面積が1 cm²小さくなることの説明を解釈し、その考えを別の場面に適応して言葉と式で説明すること。

○量と測定・図形

- ・ 図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形の判断。

○数と計算

- ・ 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述すること。

これまでの取組から

○計算をする際には、結果の見積もり・確かめという一連の活動を意識できるよう指導してきたことで、基礎的な計算力が向上してきました。

○算数的活動を取り入れて問題解決ができるような授業作りをすることで、図形の性質に関する理解が向上してきました。今後も継続して指導して行きます。

今後の具体的な取組について

○自分の考えを自分の言葉で説明する学習をさらに充実させ、自信を持って論理的に表現する力が定着できるよう、指導していきます。

○問題を解決した後さらに、児童自らが新たな問いを見いだそうとするなど、問題を発展的に考察しようとする態度を育てていきます。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

○算数の勉強が「好き、どちらかと言えば好き」と答えた児童の割合は74.4%と高く、全国平均を上回っている。算数への関心は高いです。

○「総合的な学習の時間」の勉強が「好き、どちらかと言えば好き」と答えた児童の割合は83.4%と高く、自分で課題をたてて調べて発表する活動は充実していたといえます。

《課題と思われる所》

○国語の授業で、自分の考えを話したり書いたりする時、うまく伝わるように話し方を工夫したり、考えの理由が分かるように書いたりすることを心がけている児童が少ないです。

○学級会など話し合いの活動で、自分と異なる意見の良さを生かしたり、折り合いをつけて話し合って意見をまとめることに意識している児童の割合は46.2%と低いです。

生活について

《よかった所》

○朝食を毎日食べている児童の割合が98.7%と高いことや、毎日の就寝時間、起床時間が比較的に規則正しいことから、生活習慣は身につけているといえます。

○宿題については「している、どちらかといえばしている」と答えた児童の割合が100%で、宿題については家庭学習として定着したといえます。

《課題と思われる所》

○「人が困っている時に進んで助けている。」という児童の割合が全国を10.2ポイント下回っている。また、「人の役に立ちたい」と思っている児童の割合も全国を下回っています。

○地域の行事に参加したり、地域のボランティア活動に参加したりする児童の割合が全国平均より下回っています。

これまでの取組から

○規則正しい生活習慣については、昨年の学力学習状況調査の結果でも、ご家庭で取り組んでいただきたいこととして載せた項目で、徐々に定着してきている傾向にあります。

○家庭学習の基本として「宿題」は毎日出し、家庭学習の必要性を保護者に発信することによって「宿題は必ずやる」習慣がついてきたといえます。

今後の具体的な取組について

○国語においては授業の中で、自分の考えをわかりやすく話したり、文章に書いたりする活動を多く取り入れ、表現力を高めるための言語活動を引き続き充実させていきます。

○読書活動の取組を継続し、本を読むことが好きな児童の育成に努めます。



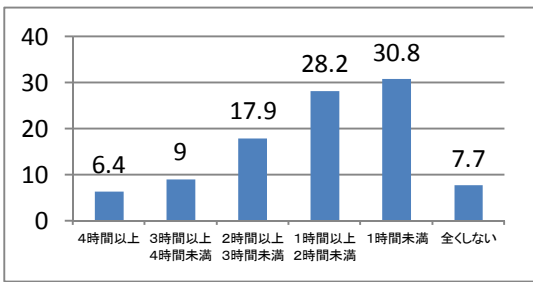
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 テレビやゲームは時間を決めて観ましょう。

長時間のテレビ視聴は目の健康を害します。時間を決めて見るようにしましょう。

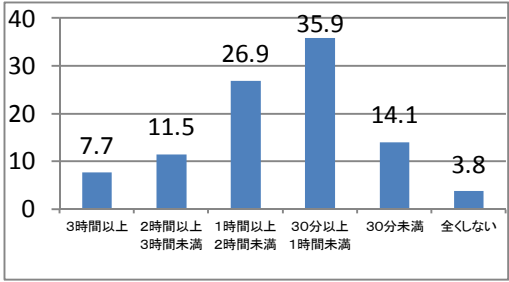
普段一日どれぐらいの時間ゲームをしますか。



2 自主学習も取り入れ、勉強時間を増やしていきましょう。

宿題の他に自主学習にも取り組み、少しずつ家庭学習の時間を増やしていきましょう。

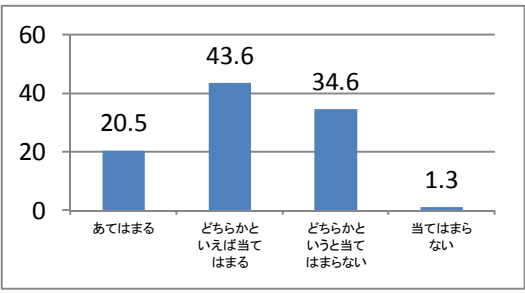
普段、一日どれぐらいの時間勉強しますか。



3 挑戦する気持ちを大切にしましょう。

挑戦する気持ちは学習や生活の中で大切です。小学生のうちから育てていきましょう。

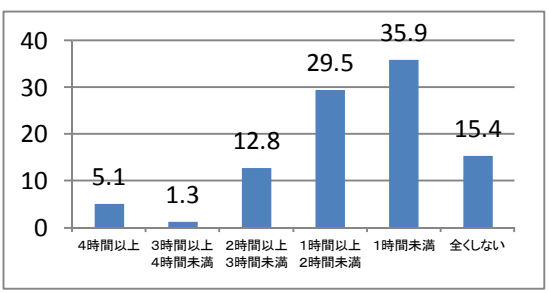
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。



4 学校が休みの日でも、家庭学習の時間を決めて取り組みましょう。

家庭での勉強について、毎日取り組むようにお子さんと一緒に計画して取り組みましょう。

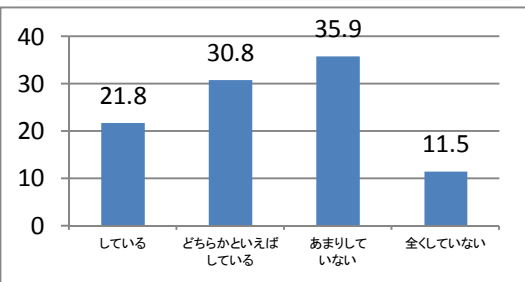
学校が休みの日に、普段一日どれぐらい勉強をしますか。



5 自分で計画を立てて、家庭学習に取り組みましょう。

宿題だけでなく、予習復習などお子さん自身が考えて取り組めるよう励ましてください。

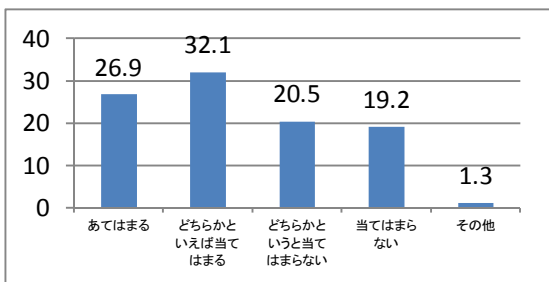
家で、自分で計画を立てて勉強していますか。



6 地域の行事に参加しましょう。

地域の行事に親子で参加して、地域の一員としての意識を育てていきましょう。

今住んでいる地域の行事に参加していますか。





平成28年11月